

# ぎ かい

ちようなん

議会だより

第180号

2022

8

## CONTENTS (主な内容)

- 令和4年第2回定例議会…………… 2
- 議会全員協議会…………… 3
- 6人の議員が町政を問う（一般質問）… 4

## 今月号の表紙

令和4年6月10日に野見金公園で撮影しました。  
儼くもきれいな花を咲かせる紫陽花（あじさい）は、こ  
の暑い夏に涼しさを感じさせてくれました。



# 第2回 定例議会

全ての議案で  
原案可決に

令和4年第2回定例  
議会は、6月8日に招  
集され、13日までの6  
日間の会期で開きまし  
た。  
この議会では、町長  
から提出された計8議  
案のほか、議員発議3  
件について審議し、原  
案のとおり可決しまし  
た。  
また一般質問は6人  
の議員が行いました。  
詳細については、4  
ページから掲載してお  
ります。

## 令和4年長南町議会第2回定例議会 議決結果

議案番号	件 名	内 容	議決の結果（※）
承 認 第1号	専決処分の承認を求めることについて (長南町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	地方税法等の一部を改正する法律が公布され、令和4年4月1日から施行されることとなったため、急施を要するものと認め、令和4年3月31日に専決処分をしたことに伴い、議会の承認を求めるもの	承 認 賛 (11) 否 (0)
議 案 第1号	長南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	保険税負担の公平性の確保及び中低所得層の保険税の負担軽減を図る観点から、国民健康保険税の賦課限度額を見直すため、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛 (10) 否 (1) 和田
	<b>反対討論 国の支援金を増やすべき（和田）</b> 食料品などの生活必需品が高騰する一方で年金は減らされ続け、国保の負担は年々増えるばかりです。国がもっと支援策を増やすべきだったと考えます。 <b>賛成討論 国民健康保険税条例の改正は妥当（加藤）</b> 課税限度額の引き上げについては、高所得者からの負担を多く、中低所得者層の負担を軽減することで税負担の公平性を図ったものです。また本件は、国の税制改正に沿ったものであり、条例改正に賛成します。		
議 案 第2号	工事請負契約の締結について	防災行政無線親卓等の整備工事に伴う工事請負契約の締結をするため、議決を求めるもの 【相手方】 スイス通信システム株式会社 【契約金額】 1 億 1,660 万円	原案可決 賛 (10) 否 (1) 板倉
議 案 第3号	令和4年度長南町一般会計補正予算（第1号）について	歳入歳出に4億7,215万円を追加、予算総額を56億9,715万円に (スケートボードパーク製作・設置等工事、物価高騰対応地域応援券発行事業 外)	原案可決 賛 (10) 否 (1) 加藤
	<b>反対討論 公費2,500万円によるスケートボードパーク整備は反対（加藤）</b> 長南集学校に標記の施設を作ることは良しとして、町が公費で作ることに反対です。既に民間の施設があり、民間に任せて補助金で援助すべきです。また、野見金公園への遊具設置700万円についても必要は無いと思います。 よって、この予算が含まれる一般会計補正予算に反対です。 <b>賛成討論 住民生活・地域経済を支援する内容のため賛成（林）</b> 当該予算につきましては、主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、「感染症対策」と「地域応援券の発行」など、住民生活や地域経済を支援するものであり、新型コロナウイルス感染症への対応として効果的な内容であります。よって賛成します。		
議 案 第4号	損害賠償額の決定及び和解することについて	給田地先で町道を走行中、道路内へ傾いていた視線誘導標と接触し、相手方の車両の左サイドミラーカバーが破損した事故に対し、過失割合による損害賠償額を決定し、和解をすることについて、議決を求めるもの	原案可決 賛 (11) 否 (0)

※議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。現在の在職議員12名（議員定数13名）

《次ページへ》

## 令和4年長南町議会第2回定例議会 議決結果

議案番号	件 名	内 容	議決の結果（※）
議 案 第5号	副町長の選任につき同意を求めることについて	副町長を、佐久間静夫（さくましずお）氏に選任することに同意した 【任期】 令和4年7月1日から 令和8年6月30日まで（4年間）	同 意 賛 (7) 否 (3) 宮崎、板倉 和田 棄権 (1) 加藤
	<b>反対討論 副町長の選任に関して（板倉）</b> 平野町長と同じく茂原市役所職員であったため選任に反対します。また、都市計画課の職が長期であったことから、副町長としてではなく、都市開発を早期に着手することに携わっていただき、特命課等の新設を提案をします。		
議 案 第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	渡邊輝夫氏の任期満了に伴い、新たに石井豊（いしいゆたか）氏を固定資産評価審査委員会委員に同意した	同 意 賛 (11) 否 (0)
議 案 第7号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	酒井栄子（さかいえいこ）氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を人権擁護委員として適任と認めた	適任と認める 賛 (11) 否 (0)
発 議 第1号	長南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続等の簡素化を推進し、事務作業の負担軽減と利便性の向上を図るため、条例で定める書類等の押印を省略するべく、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛 (11) 否 (0)
発 議 第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、内閣総理大臣のほか、政府の関係各所へ意見書を提出するもの	原案可決 賛 (11) 否 (0)
発 議 第3号	国における2023年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	必要な教育予算を確保するべく、内閣総理大臣のほか、政府の関係各所へ意見書を提出するもの	原案可決 賛 (11) 否 (0)

※議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。現在の在職議員12名（議員定数13名）

議員  
全員  
協議  
会

6月10日

地域公共交通に関する  
アンケート結果について

町の公共交通に関するアンケート調査結果についての説明があり、議会で協議しました。

なお、議会からの質疑や意見、説明のあった調査概要等は次のとおりです。

### 質疑・意見

- ▽路線バスのコースの見直し
- ▽巡回バスの運用コストより、デマンドタクシーの方が安価で利用できる
- ▽利用者の予約に際して運行する、オンデマンド交通にすべき土日運行をしてほしい
- ▽ニーズに答えてほしいものを作ってほしいなど

### ●調査概要

対象者は長南町在住の65歳以上の町民で、千人を無作為抽出により選定。

令和3年8月2日郵送によりアンケートを送り、8月16日にポスト投函締切とし、回収。

回収票数は、609票（回収率60・9％）。

### ●今後の課題

高齢者の高い自動車依存の傾向があり、家用車の利用率が高く、運転免許証の返納意向は低い。

### 公共交通の利用意思

の低下の傾向があり、今後はニーズとのミスマッチが予想される。

### 乗合タクシーの運行

内容の見直しの必要性があり、町内限定の移動や土日運休の不満の声は多い。

# ここが聞きたい！

## 6人の議員が一般質問を行う

定例会の1日目及び2日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。  
件名について掲載いたします。

なお、一般質問は町政全般について、希望する議員が質問や提言を行うもので、制限時間は1人につき1時間です。

### 丸島 なか 議員

P5

- ☐ 地方創生臨時交付金について
- ☐ 交通弱者対策について
- ☐ デマンドタクシー事業について
- ☐ L.L.ブック導入について
- ★ 子育て交流館について

### 河野 康二郎 議員

P6

- ☐ 地場産物使用促進事業を
- ☐ 地場産物の使用は
- ☐ 製法とエコ・リサイクルから
- ☐ 給食での食育は
- ☐ 朝食は
- ☐ 黙食の活用を
- ☐ 食材費高騰の影響は

### 和田 和夫 議員

P7

- ☐ 感震ブレーカーの設置について
- ☐ インボイス制度の影響は
- ☐ 会員への支払いは
- ☐ 盛土の総点検実施と対策は
- ☐ 小学校でのコロナ対策は
- ☐ 検査キットの扱いは

### 加藤 喜男 議員

P8

- ☐ 茂原長南インター周辺の開発は
- ☐ 給食用食材の価格上昇策は
- ☐ 広域水道事業の統合の状況は
- ★ 小中学校の不登校について
- ★ 新型コロナウイルス感染症について
- ★ 学校での国を守る教育について
- ★ グルメタウン化について

### 板倉 正勝 議員

P9

- ☐ 人口減少への対策は
- ☐ 町有財産の売却は
- ☐ 過疎地域におけるまちづくり
- ☐ 無償貸付は

### 岩瀬 康陽 議員

P10

- ☐ 脱炭素社会実現のための取組は
- ☐ 脱炭素達成のための支援は
- ☐ ガス事業の脱炭素の取り組みは
- ☐ 多世代同居を推進する補助制度の新設を
- ☐ 独居高齢者用のシェアハウスの整備を

町政を問う

一般質問は、質問者本人の原稿をそのまま掲載しています。

☐印の質問は掲載された質問ですが、★印は紙面の都合により掲載していません。  
詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。



# 地方創生臨時交付金について

## 地域応援券事業を再度実施します



丸島なか 議員

### 問

地域応援券事業の過去の実績や今後の事業内容、対象店舗等について伺います。

### 産業振興課長

令和2年度は1人1万円分を配布し、利用率は98・29%でした。令和3年度は5千円分を配布し、利用率は97・6%でした。今回もコロナ禍及びウクライナ情勢に伴い、原油価格や物価高騰により、家計への負担が増加していることから、全町民へ1人1万円分の地域応援券事業を再度実施します。

各世帯主に郵送するのは9月中旬頃で、利用期間は9月下旬から翌年1月末までを予定しています。

新聞代については町内の新聞店が協力店舗となっていたければ利用可能です。

### 企画政策課長

巡回バスは小湊鉄道、タクシー事業者は町内の2つの事業者に協力店舗になっていただけのような声かけをしていきます。

### 交通弱者対策について

### 問

せっかく走っている巡回バスも、利用客がほとんどいません。費用対効果等の実績を伺います。

巡回バスの存続・廃止については難しい問題ですが、町としてはどう考えているか伺います。

ます。

### 協議して判断する

### 企画政策課長

令和3年度の実績は利用者累計1,648名で、利用料金15万2千5百円、委託料は931万7千円でした。令和3年度に地域公共交通に関する住民アンケートを実施し、6月下旬開催の地域公共交通活性化協議会で検討していきます、町として最終的に判断します。

### デマンドタクシー事業について

### 問

デマンドタクシーは、平成24年から実証実験をし、平成25年にスタートしました。

このデマンドタクシーはドア・ツー・ドアで自宅まで来てく

れ、ワンコインで利用でき、魅力的なので需要が高まっており、土曜日もぜひ運行してほしいという声があります。

土曜日の運行を町はどう考えているか伺います。

協議会で検討します

### 企画政策課長

地域公共交通活性化協議会で検討します。



### LLブック導入について

### 問

LLブックとは易しくて分かりやすく書かれている本のことを言います。

知的障害のある人や、文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人でも易しく読めるよう工夫されています。

公民館の図書室や小・中学校の図書室等に取り入れる考えはないか伺います。

今後検討します

### 生涯学習課長

公民館の図書室にLLブックを多少でも置くことで、社会教育施設の役割の一つと考えられます。今後の取り入れについては考えていきたいと思っています。

### 学校教育課長

学校では年間の予算は20万円と限られているので、来年度以降に検討していきます。

# 地場産物使用促進事業を

## 生産者との合意形成が必要



河野康二郎 議員

### 問

地場産物使用を進めるために、

学校側と生産流通側の調整役として、仕組み作りを担うコーディネーターの配置と相互の協議する場を設置する「学校給食地場産物使用促進事業」に取り組む考えはありますか。

### 給食所長

生産者との合意形成が必要なので、検討します。

### 問

地場産物の使用について伺います。

地場産物使用は

米は地元から

### 給食所長

地場産物の使用については、令和4年5月平均で千葉県産32.3%、長南産6.3%、地元産米の使用については、大規模農家や営農組合等と協議し進めていく考えです。

製法とエコ・リサイクルから

### 問

給食牛乳について、学校給食

所審議会で問題提起がされ、その後、審議が滞っています。紙パックかビンかの違いは、製法の違いであり、味などへの影響やエコ・リサイクルといった視点から考えていく必要があるものです。今後の取り組みを伺います。

検討します

### 給食所長

児童生徒、教職員の考えを聞き、検討します。

給食での食育は

### 問

生活習慣を見直す取り組みとして、コンビニ食材を

題材に食育を取組んでいる中学校の例があります。

具体的な取り組みについて計画するなど、学校給食を活用した食育について伺います。

生活習慣を学ぶ

### 給食所長

小学校就学時や、健診時に保護者を対象に「朝食中心の生活習慣」や、中学3年生に「受験期の食生活」について考える機会を持っています。

ど、テーマに合わせて行っています。また、

肥満の傾向があることから、生活習慣を食育の中で学ぶ取り組みを続けます。

朝食は

### 問

児童生徒の朝食についての調査と対応策について伺います。

調査し、検討を

### 給食所長

朝食については調査していません。栄養士の学校訪問に合わせ、検討します。

黙食の活用を

### 問

コロナ禍において、食生活の

見直しが予防につながる、味覚教育やよく噛んで食べる習慣などの食育の視点から、黙食の活用を活用する考えがあるか伺います。

工夫をしたい

### 給食所長

楽しく食べるための食事の仕方など、ただの黙食ではない工夫をしたいと考えています。

食材費高騰の影響は

### 問

食材費高騰下の給食費用への

影響、「地方創生臨時交付金」の活用、また県の給食費無償化（動き）を学校給食向上に活用する考えがあるか伺います。

検討します

### 給食所長

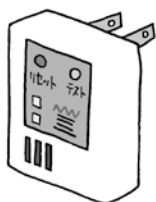
本年度4、5月実績と昨年度を比較すると予算ベースで7%の増となっています。地方創生臨時交付金の活用を検討し、県の動向を注視して対応します。

# 感震ブレーカーの 設置について

電気火災対策として、周知します



和田和夫 議員



「感震ブレーカー」  
イメージ

## 問

感震ブレー

カーは、地震の際の電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する通電火災の発生を抑制する効果があります。

町として補助金を出す考えはあるか伺います。

## 総務課長補佐

電気火災対策として、地震を感じて自動的に電気を遮断する感震ブレーカーがあることを周知します。

## インボイス 制度の影響は

## 問

町の事業者や個人事業主はどれくらいか、また免税業者となるのか伺います。

## 産業振興課長

中小企業数と農業者数は計664件

令和2年度の事業継続支援助成で算定した

件数は、個人事業主を含む中小企業数271件、農業者393件、計664件と推測しており、個人で慎重に検討してもらうしかありません。

## 会員への支払いは

## 問

全会員が免税・減税のままでは、消費税納税額も会員に支払う報酬額が仕入れ額控除がなくなることから、シル

バー人材センターの会員への支払いはどうなるのか伺います。

全国事業協会で検討中

## 福祉課長

全国シルバー人材センター事業協会において、対応策等が検討されておられ、その動向をみて近隣町村と調整します。

## 盛土の総点検 実施と対策は

## 問

千葉県では2,898か所で点検が行われたと聞いていますが、町での点検箇所数と場所、対策について伺います。

8箇所の点検を行いました

## 建設環境課長

町では8か所の点検

を行い、許可や届出等の手続が取られていない、災害防止の措置が確認できなかった盛土が市野々地先に1か所ありました。

今後県と密に連絡を取り、動向を注視していきます。

小学校でのコロナ対策は

## 問

授業、学校行事、給食、部活動の現状と、父兄への連絡や通知はどうしているか伺います。

保護者には文書で通知

## 学校教育課主幹

学校としては、感染対策を徹底し、本来の活動に戻るよう取り組んでいきます。

県から緩和する通知が何回か来ており、学校長と確認をし、保護者へは文書で通知して

## 検査キットの扱いは

## 問

新型コロナウイルスが大量に廃棄されていることが全国的に問題になりましたが、町の検査キットの扱いと、数を伺います。

使用期限切れにより廃棄

## 学校教育課主幹

職員、児童・生徒が出勤、登校後に体調不良となり、学校にとどまる場合に使用するものでしたが、該当する場面がなく、使用期限が切れたため廃棄しました。

なお、昨年度、町に届いた検査キットの数は30です。



# 茂原長南インター 周辺の開発は

## 優先順位をつけて



加藤喜男 議員

### 問

茂原長南インター周辺について

では町民に夢を与えるために、執行部の皆さんが地図を眺め、写真を眺め、現地に行つてどのようなことができるのか、夢の構想でも良いので町民に示していただければと思います。

す。

町長は第1回の定例会において、「インター

周辺についてはいくつかの企業に見ていただ

いているが、求めるだけの面積が確保できな

くて前に進んでいない」、「引き続き希望

する企業を探してい

る」と語っておりまし

状況をお聞きしま

### 企画政策課主幹

毎年、年度初めには県の企業立地課へ出向き、長南町のPR、それとインター周辺には限らず、主に旧長南西部工業団地の計画跡地、それと上小野田地先にある空港代替地を中心に企業誘致という形で推し進めている状況です。

したがって、インター周辺ということではなくて、町が持っている遊休土地をうまく有効活用していくかということに主眼を置いています。

町と

しては

優先順

位をつ

けて進

めてい

る状況



茂原長南インター周辺

### 給食用食材の 価格上昇対応策は

### 問

ウクライナ戦  
争で小麦輸出の

船が動かないとか、植え付けができないとか、世界食料事情は厳しいようです。また、飼料などの価格も上がり、畜産の生産に影響が出てくるようです。

日本ではコメが100%自給できるわけ、小麦製品に替えて、小麦を大いに給食に使っていただくことをお願いするものですが、給食用食材の価格上昇への対応策についてお聞きします。

### 価格動向を注視

### 給食所長

食料費の状況ですが、昨年に比べ予算ベースで約7%の増となっています。食料費

### 統合への準備段階

### 町長

九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体の統合について、民営化を進めるとのことではなく、2企業体と県を含めた統合について協議をしていくということです。

九十九里も施設が老朽化しているということで、今後の更新の施設費が大変多くなってくるということです。

令和6年までしっかりと議論をして、メリット・デメリットを整理しながら統合に向けて準備をしていく段階です。

す。





# 人口減少への対策は

## 交流人口の増加にも取り組む



板倉正勝 議員

### 問

移住者への住宅問題及び空き家対策として、高齢化する農業関係者との交流によるウクライナ避難民の定住を図る考

えがあるか伺います。  
また、人口流出が著しい「若者世代や子育て世代への新規の小規模宅地造成の検討」について伺います。

### 企画政策課長

人口増加対策として住宅取得奨励金の交付等、空き家情報バンクでの移住・定住施策の充実も図っております。

ウクライナ避難民の避難施設としての空き

家活用は現在のところ考えておりません。

宅地造成は、魅力的な宅地開発を行える一団のまとまりのある土地がないことが現在の課題と考えています。

### 町有財産の売却は

### 問

若者世代に町に住んでいただくため、宅地造成を行い、分譲するようなやり方で、町有財産を売却する考えがないか伺います。

適地がない

### 財政課長

新規の宅地造成は適地がない状況ですが、今後、売却が可能な財産が生じた場合は、人口減少対策としての住宅用地又は、地域の活性化のための事業用地での売却も検討しております。

### 過疎地域におけるまちづくり

### 問

長南町の安価な土地による容易な用地確保やインター周辺を物流拠点として活用し、過疎脱却を図る考えはありますか。今後の人口減少・過疎対策や将来的な狙いや、どのようにまちづくりを進めていきたいと思うのか伺います。

長南町を売り込んでいく

### 企画政策課主幹

圏央道等の地域資源を活用し、地域活力の向上が実現できるように自立に向けての動きを加速させていくことが長南町の将来の持続可能なまちづくりにつながっていくと考えております。

### 無償貸付は

### 問

旧豊栄小学校の学校事業が開始し、生徒数6名が在籍中との事ですが、今後の学校運営に問題はないか伺います。

また、旧4小学校や幼稚園の跡地、野見金のカフエテラスの無償貸与ではなく有償貸与への切替え、売却による町の収益増加や他市町村における商業拠点になりうる場所の検討など、町民の目に見えるような今後の方針を伺います。

今後の学校存続と無償貸与のメリット

### 企画政策課主幹

学校運営を存続できるか否かは、少子高齢化の時流の流れで重要なポイントとなっております。

### 町長

許認可権限は千葉県学事課にあり、経営者側は様々な厳しい基準をクリアして専門分野となる千葉県サイドで学校経営の許可をもらっているため、問題ないと認識しております。

投票所や避難所としても使えるメリットもあり、総合的に考えて無償で貸与にしています。地道な事業を意見交換しながら、長南町にとってよりよい方法を見出していければいいのかなと思っています。



# 脱炭素社会実現のための取組は

庁内で情報を共有し「出来ることから取り組む」



岩瀬康陽 議員

## 問

国は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指す。

町は2050年までの脱炭素社会の実現に向けてどのように取り組んで行くのか伺います。

## 建設環境課長

脱炭素社会の実現は、町全体で取り組む必要があります。脱炭素は地方創生に貢献できるので、町は何が出来なのか庁内で情報を共有し、出来ることから取り組みたいと思います。

脱炭素達成のための支援は

## 問

本町が脱炭素を達成するため

に、住民や事業者をどのように支援し促進させていくのか伺います。

まずは、本町の状態を調べていく

## 建設環境課長

脱炭素への取組は、温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすることが目標です。

まずは、本町の現状を把握するため、二酸化炭素の排出量と森林等の吸収量を調査し、本町がどのような状態なのか、調べたいと考えています。

ガス事業の脱炭素の取り組みは

## 問

現在日本ガス協会では、水素

と回収した二酸化炭素から合成される、合成メタンの実用化を進めており、2050年までに脱炭素を達成する方針です。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

町の考え方と協同出来るよう検討

## ガス課長

合成メタンの実用化も視野に入れ、ガス課では今後どのような方向で脱炭素に対して事業を進めていくのか、町の考え方や方向性と協調できるよう、検討していきたいと考えています。

多世代同居を推進する補助制度の新設を

## 問

本町は、高齢者の独居世帯と夫婦世帯が増加傾向に

あります。このため町は、高齢者の孤独・孤立を解消するため、多世代同居を推進する補助制度を新設すべきではないか伺います。

若者定住促進事業の対象に

## 福祉課長

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事の両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

独居高齢者用のシェアハウスの整備を

## 問

高齢者の孤独・孤立を解消し、生き活きと安心して生活できるよう、独居高齢者用のシェアハウス等を整備すべきではないか伺います。

町が空き家を借り受ける方策も視野に

## 企画政策課長

現在町は、空き家所有者の実態把握等に力を入れており、その中で高齢者を支援出来る空き家があれば、町が借り受ける方策も視野に入れて行きたいと考えています。

## 用語解説

温室効果ガス

大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどの総称

## 脱炭素

二酸化炭素の排出をゼロにする取組み

## シェアハウス

一つの住居に複数人が共同で暮らす賃貸物件



## 議長・議員が出席または

## 参加した主な行事

〔5月〕

17日 長生郡町村議会議長会臨時会（松野議長）  
18日 南部地区議会道路整備協議会総会

（松野議長）

24日 長生郡町村議会議長会総会（松野議長）

26日 千葉県町村議会議長会定例会（松野議長）

30日 議会運営委員会

31日 長生郡市広域市町村圏組合 臨時会

（御園生議員）

〔6月〕

8日 第2回定例会（～13日）

8日 各常任委員会

27日 長生郡町村議会議長会臨時会（松野議長）

〔7月〕

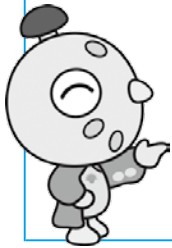
4日 長生郡市議員会定期総会

7日 議会広報特別委員会

13日 3市3町議会議長連絡協議会定例会総会・

視察研修（松野議長）

22日 議会広報特別委員会



## 新型コロナウイルスにおける 感染予防対策をしております。



- 議員・職員・傍聴人のマスク着用
- アルコール消毒液の設置
- 換気の励行

- 議員・職員・傍聴人の検温の実施
- 飛沫防止用のアクリルパーテーションの設置
- 共用部分のアルコール消毒の強化



まつの  
松野  
としのぶ  
寿伸さん

# ちやうなんの 若い力



さとう  
佐藤  
りさ  
理紗さん

## アットホームな町

私は長南町で生まれ育ち、現在も長南町に暮らしています。移動は車中心ですが、これといって不便と感じたことはあまりありません。圏央道もでき、むしろ色々な所へアクセスしやすいかと思っています。

町内人口も年々減り、これからの担い手に少し不安もあります。元気がいい子もいますが、支えてくれる親世代、あたたかく見守って下さるご年配の方、様々な世代の方の助け合いがあり、こうして今、安心して暮らせていることに感謝です。

## 魅力ある住みよい活気溢れる町へ

私は、生まれも育ちも長南町であり、現在も住んでいます。町の魅力は自然豊かで空気や水が美味しく、特に特産品でもある「お米」や「ハス」は、家族みんなが大好きです。

また、子育て支援が手厚くて充実しているのも、子供が3人いる私達家族は、とても感謝しています。

『頑張ろう長南!!』

## 議会を傍聴してみませんか？

めんどろな手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限する場合があります。

次回の定例議会は、  
**9月6日(火)**から  
開会の予定です。

## 長南町 公式 LINE

長南町の防災情報やテレビ等のメディア情報、イベント情報、議会の開催日程などを即時にお届けすることができます。長南町の公式 LINE アカウントを開設しております！

右記の QR コードを読み取っていただき、ぜひ「友だち登録」をお願いします。



LINE 通知イメージ

## 長南町議会広報特別委員会

発行責任者	松野 唱平
委員長	宮崎 裕一
副委員長	森川 剛典
委員	加藤 喜男
同	和田 和夫
同	岩瀬 康陽

先日、私が車を運転して交差点で停止していたときの出来事です。それは、交通量が多く幅が1m位の上り坂の歩道を、若者が自転車ですって来たところ、ランニング中の若者が下ってききました。私は、どうするのかなと注視していたら、自転車の若者が自転車から降りて、ランニング中の若者に道を譲ってあげたのです。譲られた若者は、笑みを浮かべて軽く会釈をし、坂を下っていききました。なんと微笑ましい光景になりました。現代は、人間関係が希薄になり、生きづらいつと感じる人が多くいると思います。この若者のように、譲り合いの心を持てば、世の中にある大小の争い事も少なくなり、良好な人間関係を築けると思うのは私だけでしょうか。(岩瀬康陽)

## 編集のあとで